

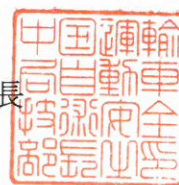


中国技保第156号  
中国技整第292号  
平成29年2月23日

広島県バス協会会長  
鳥取県バス協会会長  
島根県旅客自動車協会会長  
岡山県バス協会会長  
山口県バス協会会長

} 殿

中国運輸局自動車技術安全部長



### バスの冷暖房機器類の安全確保について

バスの車両火災事故の防止については、機会あるごとに注意喚起をしているところですが、2月14日、広島県内の山陽自動車道において、高速乗合バスの車両床下付近から出火する火災事故が発生しました。

幸いに負傷者は生じませんでした。車両が全焼することとなった社会的影響が大きい火災事故が発生したことは誠に遺憾です。

今般の警察、消防等の関係機関による調査では、冷暖房装置の主電源配線に短絡している痕跡が認められ出火元と推定されています。

現時点では、出火原因の究明には至っておりませんが、冬期間には冷暖房装置を頻繁に使用することから、冷暖房装置及びその補機類（以下「冷暖房機器類」という。）からの出火防止に万全を期すため、下記のとおり、バスの冷暖房機器類の安全確保に努めて頂きますよう、貴会会員事業者への周知徹底方お願い致します。

### 記

1. 保有するバスの冷暖房機器類について、正常機能の確認とともに、電気配線の結線方法、端子の緩み・損傷、配線被覆の摩耗・劣化、損傷の有無等について点検すること。点検の結果、不具合箇所が確認された場合には、専門業者に依頼する等して適切に措置すること。
2. 冷暖房機器類メーカーが推奨する点検・整備、清掃等（日常、定期、一定使用時間毎など）を、必要に応じ専門業者に依頼する等して適切に実施すること。